

家 庭		東書（東京書籍株式会社）
総 評		<p>地域の一員として、自分ができるところを考えられる内容が書かれており、安全な社会の実現に配慮されている。</p> <p>思考ツールを活用したり、学習の流れが3つのステップで簡単な言葉で示されたりしており、主体的・対話的な学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されている。</p> <p>製作などのもの作りの例も豊富に提示されており、身近な家庭や学校の場面を写真やイラストで大きく示し、実践意欲が高まるように工夫されている。</p> <p>判型が高学年としては大きいので、実習時に扱いにくく、自ら問題意識をもって考える学習を指導する際には、やや配慮を要するレイアウトである。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ P.122～の題材では、防災についての観点でも地域とのつながりが書かれており、安全な社会の実現に配慮されている。① ○ Yチャートや記録シートのような思考ツールを活用したり、学習の流れが3つのステップで簡単な言葉で示されたりしており、主体的・対話的な学びの実現に向けた授業改善に資するよう配慮されている。③
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 製作などのもの作りの例も豊富に提示されており、実践意欲が高まるように工夫されている。② ○ 「プロに聞く！」のコーナーでは、その題材の学習に関するプロの方の話を取り上げ、より現実的・実践的な活動について知ることができるように工夫されている。⑤ ○ 日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けられるようにまとめてあり、児童にとって実践しやすい内容となっている。②⑦ ○ 「資料」のコーナーは多様な情報が掲載されている⑤
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真が大きく、文字とのバランスも良く見やすい。② ○ 文字の色使いも配慮されていると感じる。③
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元で新しく学習することとこれまで学習した他教科との関連が細かく記載されており、家庭科での学びがこれまでの学習とどうつながって、どのように発展していくか理解しやすい。① ○ 学習の流れが3つのステップで明記されている。また、「いつもたしかめよう」や「ふりかえろう」が示されており、学習したことを確実に習得できるように工夫されている。②
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各題材とも資料が豊富で学習意欲を高めるために工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	2 内容の取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自ら問題意識をもって考える学習をするには、やや配慮を要するレイアウトである。また、指導計画を実態に合わせてしっかり立てる必要がある。
	3 外的要素	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大きさがA4サイズなので場所が取られたり重たく感じたりする。①
	4 構成・配列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特になし
	5 資料・その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全てのマークについての説明が既に記載されており、調べ学習を意欲的にやりにくい面もある。(P.39のマーク)

令和2年度使用教科用図書 答申資料（第4地区）

家 庭		開隆堂（開隆堂出版株式会社）
総 評		<p>単元のはじめに「なぜその学習を行うのか」を身近な題材から考えさせることで、学習する意味と生活への役割への気づきに意識を向けさせ、技能や知識の習得につなげている。</p> <p>児童自身の生活を見つめることを出発点とし、わかり、できるようになり、生活に生かし深めていく3段階で学ぶよう工夫されている。</p> <p>日常生活の中から課題を見出し、それを解決する力を養うために発達段階に応じた内容が取り上げられている。</p> <p>情報がコンパクトにまとめられているが、写真や文字の配列で見にくく感じるところがある。</p>
特に優れている点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 各題材ともに、単元のはじめに「なぜその学習を行うのか」を考えさせた上で、技能や知識の習得につなげている。また、「見つける・気づく⇒わかる・できる⇒生かす・深める」のわかりやすい3段階で学ぶよう工夫されている。②③
	2 内容の取扱い	○ 日常生活の中から課題を見出し、それを解決する力を養うために役立つ内容が取り上げられている。また、P.17やP.23などにある「参考」のコーナーは、様々な生活スタイルや方法に対応できるよう工夫されている。③④ ○ 「調べよう」「話し合おう」のコーナーを授業に取り入れることで、問題解決的な学習に取り組みやすくなっている。⑥
	3 外的要素	○ 文字が大きく、強調すべき部分はわかりやすい太字で表されており、読みやすい内容になっている。④ ○ 教科書の大きさがA4より小さく、実習の際に邪魔になりにくい。 ○ QRコードを活用し、動画が見られることでわかりやすい。
	4 構成・配列	○ 発達段階に応じた内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程を振り返ったり、学んだ内容を生活に生かしたりすることができるよう配慮されている。② ○ これまでの学年で学習した他教科との関連が明記されている。① ○ 家庭科で使う用語の英単語が各ページの下欄に示されている。①
	5 資料・その他	○ 単元の流れが、2年間を通して計画しやすい順番に並んでいる。② ○ P.23の作例や、P.115のおかずの例などが豊富で、児童が意欲的に学習できるよう工夫されている。②
特に工夫・配慮を要する点	1 大阪市教育振興基本計画等との関連	○ 防災についての記述が少ない。
	2 内容の取扱い	○ 特になし
	3 外的要素	○ コンパクトにまとめられているが、写真や文字の配列で見にくく感じるところがある。
	4 構成・配列	○ 特になし
	5 資料・その他	○ QRコードで資料が見られるようになっているが、読み取る端末が必要である。